



令和4年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和3年11月2日

上場会社名 株式会社アサnte

上場取引所 東

コード番号 6073 URL <https://www.asante.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮内 征

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部副本部長 兼 経営企画部長 (氏名) 中尾 能之

TEL 03-3226-5511

四半期報告書提出予定日 令和3年11月12日 配当支払開始予定日 令和3年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 令和4年3月期第2四半期の連結業績(令和3年4月1日～令和3年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
4年3月期第2四半期	7,524	1.0	1,092	6.4	1,121	11.4	735	10.9
3年3月期第2四半期	7,452		1,166		1,265		825	

(注) 包括利益 4年3月期第2四半期 740百万円 (14.5%) 3年3月期第2四半期 866百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
4年3月期第2四半期	67.08	
3年3月期第2四半期	66.84	

(注) 令和3年3月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、令和3年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
4年3月期第2四半期	14,862	12,078	81.3	1,101.63
3年3月期	14,429	11,666	80.9	1,064.09

(参考) 自己資本 4年3月期第2四半期 12,078百万円 3年3月期 11,666百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
3年3月期		30.00		30.00	60.00
4年3月期		31.00			
4年3月期(予想)				31.00	62.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和4年3月期の連結業績予想(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,098	1.6	1,530	4.5	1,555	8.7	973	8.5	88.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

4年3月期2Q	12,348,500 株	3年3月期	12,348,500 株
4年3月期2Q	1,384,695 株	3年3月期	1,384,695 株
4年3月期2Q	10,963,805 株	3年3月期2Q	12,343,444 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当社は、令和2年7月1日付で株式会社ハートフルホームの全株式を取得しました。これに伴い、令和3年3月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しております。

2. この資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現性を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経済活動も制限され、個人消費や雇用情勢は弱い動きとなりました。また、同感染症の収束時期は未だ見通せず、景気は依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループの市場におきましては、住宅政策において、既存住宅の長寿命化とメンテナンスを重視する方針は変わらず、潜在需要は依然大きいと見ておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響が収まらず、厳しい事業環境が続きました。

このような状況下において、当社グループは中長期的に安定的・持続的な成長を実現するため、「コンプライアンス強化とお客様満足度の向上」「優秀な人材の確保と従業員満足度の向上」「生産性の向上」「エリア展開の促進」「新型コロナウイルス感染症への対応」に取り組んでまいりました。

なお、「エリア展開の促進」につきましては、新規エリアとなる愛媛県に、4月1日付で南予営業所を開設しました。同拠点を足掛かりとして、西日本エリアの拡大を一層図ってまいります。

「生産性の向上」につきましては、CM、新聞折込、WEB広告を実施するとともに、探知犬の活用により、当社の認知度向上を図り、白蟻防除や地震対策の必要性を社会に訴求してまいりました。

また、「新型コロナウイルス感染症への対応」につきましては、同感染症の動向を注視しながら、感染対策に十分な注意を払って事業活動に取り組んでまいりました。しかし、同感染症の予想以上の拡大に伴い、社会における警戒感の高まり等、成約に至るまでの条件が厳しくなり、当社事業に対する影響は続きました。

以上の結果、第2四半期連結累計期間の売上高は、前年7月1日に子会社化した株式会社ハートフルホームの売上高が寄与し、前年同期比71百万円増加(1.0%増)の7,524百万円となりました。

売上原価は、前年同期比117百万円増加(5.5%増)しました。その結果、売上総利益は同45百万円減少(0.9%減)の5,288百万円となり、売上総利益率は同1.3ポイント低下して70.3%となりました。

販売費及び一般管理費は、前年同期比28百万円増加(0.7%増)しました。その結果、営業利益は同74百万円減少(6.4%減)の1,092百万円となり、営業利益率は同1.1ポイント低下して14.5%となりました。経常利益は同144百万円減少(11.4%減)の1,121百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は同89百万円減少(10.9%減)の735百万円となりました。

(経営成績に関する特記事項)

当社グループの業績(特に利益)は、第2四半期連結累計期間に偏重する傾向があります。これは、例年5月をピークとして4月から7月頃まで、白蟻の活動が活発化し、白蟻防除関連の売上高が増加するためであります。この季節的変動により、四半期連結会計期間末ごとの財務内容、経営指標にも変動が生じます。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前期末比433百万円増加し、14,862百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加であります。

負債は、前期末比21百万円増加し、2,784百万円となりました。

純資産は、前期末比411百万円増加し、12,078百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加であります。

この結果、自己資本比率は81.3%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前期末比452百万円増加の7,127百万円となりました。

営業活動により増加した資金は835百万円となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益1,121百万円、主な減少要因は、法人税等の支払額251百万円であります。なお、前年同期の増加した資金は896百万円でした。

投資活動により減少した資金は0百万円となりました。なお、前年同期の減少した資金は408百万円でした。

財務活動により減少した資金は382百万円となりました。主な減少要因は、配当金の支払額328百万円であります。なお、前年同期の減少した資金は405百万円でした。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、令和3年5月7日公表の令和4年3月期の通期連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(令和3年11月2日)公表の「令和4年3月期第2四半期連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和3年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和3年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,675,208	7,127,412
売掛金	1,674,876	1,672,425
製品	76,522	90,169
仕掛品	18,586	21,357
原材料及び貯蔵品	181,161	192,074
その他	140,353	148,879
貸倒引当金	△1,113	△1,140
流動資産合計	8,765,596	9,251,178
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,419,015	1,389,678
土地	2,981,584	2,981,584
その他（純額）	149,230	141,890
有形固定資産合計	4,549,830	4,513,153
無形固定資産		
のれん	450,143	414,131
その他	42,866	39,373
無形固定資産合計	493,009	453,505
投資その他の資産		
その他	628,091	652,838
貸倒引当金	△7,109	△8,099
投資その他の資産合計	620,981	644,738
固定資産合計	5,663,822	5,611,397
資産合計	14,429,419	14,862,576
負債の部		
流動負債		
買掛金	309,817	301,628
短期借入金	70,000	—
1年内返済予定の長期借入金	226,312	222,572
未払法人税等	288,509	417,874
賞与引当金	280,002	288,108
その他の引当金	—	19,800
その他	1,004,099	933,469
流動負債合計	2,178,741	2,183,452
固定負債		
長期借入金	351,814	378,528
その他	232,409	222,510
固定負債合計	584,223	601,038
負債合計	2,762,964	2,784,491

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和3年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和3年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,161,195	1,161,195
資本剰余金	861,195	861,195
利益剰余金	11,707,545	12,114,062
自己株式	△2,054,413	△2,054,413
株主資本合計	11,675,522	12,082,038
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	705	933
退職給付に係る調整累計額	△9,773	△4,886
その他の包括利益累計額合計	△9,067	△3,953
純資産合計	11,666,454	12,078,085
負債純資産合計	14,429,419	14,862,576

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和2年4月1日 至 令和2年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)
売上高	7,452,681	7,524,371
売上原価	2,117,988	2,235,439
売上総利益	5,334,692	5,288,931
販売費及び一般管理費	4,168,104	4,196,509
営業利益	1,166,588	1,092,422
営業外収益		
受取利息	696	564
受取保険金及び配当金	62,020	32,022
その他	47,007	5,608
営業外収益合計	109,724	38,196
営業外費用		
支払利息	2,889	3,110
支払手数料	4,504	4,508
その他	3,075	1,297
営業外費用合計	10,469	8,915
経常利益	1,265,842	1,121,703
税金等調整前四半期純利益	1,265,842	1,121,703
法人税、住民税及び事業税	342,154	369,976
法人税等調整額	98,597	16,296
法人税等合計	440,752	386,272
四半期純利益	825,090	735,430
親会社株主に帰属する四半期純利益	825,090	735,430

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和2年4月1日 至 令和2年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)
四半期純利益	825,090	735,430
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43	227
退職給付に係る調整額	41,170	4,886
その他の包括利益合計	41,127	5,114
四半期包括利益	866,218	740,544
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	866,218	740,544

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和2年4月1日 至 令和2年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,265,842	1,121,703
減価償却費	96,345	59,042
のれん償却額	18,005	36,011
貸倒引当金の増減額(△は減少)	250	1,018
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,636	8,106
受取利息及び受取配当金	△696	△564
支払利息	2,889	3,110
売上債権の増減額(△は増加)	△180,972	4,019
棚卸資産の増減額(△は増加)	△19,718	△27,331
仕入債務の増減額(△は減少)	4,940	△8,189
その他	9,620	△109,440
小計	1,192,870	1,087,485
利息及び配当金の受取額	694	558
利息の支払額	△2,842	△3,107
法人税等の支払額	△327,661	△251,206
その他	33,065	1,363
営業活動によるキャッシュ・フロー	896,125	835,095
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△38,506	△1,851
その他	△370,074	1,135
投資活動によるキャッシュ・フロー	△408,580	△716
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△70,000
長期借入れによる収入	81,198	150,000
長期借入金の返済による支出	△126,822	△127,026
配当金の支払額	△364,757	△328,821
その他	4,712	△6,327
財務活動によるキャッシュ・フロー	△405,668	△382,174
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	81,876	452,203
現金及び現金同等物の期首残高	9,047,275	6,675,208
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,129,152	7,127,412

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

そのため、商品販売における代理人取引契約に係る収益について、従来は顧客から受け取る対価の総額を収益として認識しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、顧客から受け取る額から商品の仕入先に支払う額を控除した純額で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用は、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高が7,292千円、売上原価が7,292千円それぞれ減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

また、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 令和2年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。